

拿捕スルモノトス、

法例中、許サ、ル處ノ圖書ヲ出版行賣シ、若シクハ喧嘩、醉酗等ヨリ、原因セルノ犯罪ニシテ、該犯者ノ居住ヲ詳明セサルカ如キモノハ、解放スルヲ許サス、

第七十七條 違警罪犯ノ單ニ禁獄ニ止マルヘキ者ノ如キハ、決シテ之ヲ追捕スルヲナシ、治、第二百二十九條、

然レモ、該犯者ノ居住ヲ審カニセサル時ハ、首犯者ヲ拘留スヘシ、若シ通行旅人等ノ違註罪ハ、其姓名、年齢、職業、住所等ヲ問ヒ、糾シ、其處分ヲ爲シテ、之ヲ解放ス、

第七十八條 喚出狀ヲ以テ、犯者若クハ被告人ヲ拘引スルキハ、喚出狀ヲ齎ス所ノ使吏、其書簡ヲ該犯者ニ示シ、若クハ其寫狀ヲ示スヘシ、
治、第九十七條、

治罪法、第九十七條ニ曰、喚出狀、禁獄狀、収監狀ハ、使吏、又ハ公力兵ヲ預カル所ノ官吏、之ヲ犯者、被告人ニ示シテ、収監狀ハ、該犯者既ニ拘留場ニ入レラレシ時ト雖モ、之ヲ其犯者ニ示シテ、其寫シヲ渡スヘシ、

若シ犯者、其拿捕ヲ任セラレシ所ノ、公力兵ノ官吏ニ對シ、暴行拒抗シ、若シハ、此ノ暴行ノ邑長ノ面前ニ於テスル時ハ、邑長之ヲ調書ニ記ス、若シ邑長ノ在ラサルキハ、属官、其暴行拒抗ノ旨ヲ調書ニ詳記スヘシ、
第七十九條 犯罪者、或ハ被告人ヲ、邑長ノ前ニ拘引スルキハ、其証據人ヲ斥ケ置キ、邑長之ヲ糾問スヘシ、治、第四十條、及七十三條、

治罪法、第四十條、(前ニ掲載ス)

全第七十三條ニ曰、糾問判事ハ、書記官出會ノ上、犯者ノ在ラサル所ニ於テ、各自ニ証人ヲ問糾スヘシ、

邑長ハ犯者ノ口供ヲ審カニシ之ヲ調書ニ記載シ且該犯者ヲシテ之レニ自署セシム若シ自署スルコトヲ知ラサルカ或ハ自署シ肯ノセサルキハ其旨ヲ調書ニ記載スヘシ、

此犯者ハ若シ非常ノ傷痕或ハ疾病アルニ非レハ直チニ檢事ニ之ヲ送致ス檢事ハ即時ニ之カ拿捕ヲ命ス

現行犯ノ時ニ於テ憲兵之ヲ輯捕スル時ハ直チニ近方屯營ノ警察官吏ニ之ヲ引キ渡ス、

憲兵或ハ巡行ノ巡查等ニ拘引サレタル輕犯ノ罪人ヲ邑長ノ面前ニ送致スルキハ邑長ハ之レニ對シテ糾問ヲ爲スニ及ハス糾問判事ハ一應ノ要旨ヲ問ヒ糾シ其事狀ニ依リ或ハ之ヲ保釋シ或ハ直チニ之ヲ檢事ニ送致スヘシ、

第一百八十條 邑長犯者ヲ糾問スルニ犯者ノ爲メ辨護者ヲ置クコトヲ許

カス何タル身位ト其何人タルトヲ論セス犯罪者ハ身自ラ其糾問ニ答辨スヘキモノトス治第三百二條見合

治罪法第三百二條ニ曰犯者ノ代言人ハ犯者糾問ヲ受ルノ後之レト面證スルコトヲ得ヘシ、

此代言人ハ該犯ニ關スル總テノ証書類ヲ檢視スルコトヲ得可シト雖モ之レカ爲メ其証書類ヲ他所ニ移シ又ハ吟味ノ手續キヲ遲延スルコトナカル可シ、

若シ犯者其糾問ニ答ヘス若クハ答フルコトヲ肯ノセサルキハ其旨ヲ調書ニ記載スヘシ、

古昔ノ法學大家ノ言ニ曰凡ソ法官ノ犯罪者ニ對シ問糾スルニハ先ツ其問題ヲ詳明ニシ其順序ヲ紊ラス言語ニ策略ヲ構ヘス脅威ヲ交ヘス渾テ糾問中犯者ノ神心ヲ混動ナサシメス其確答ヲ爲サシメ得

ルヲ以テ、法官ノ規模トス、

第百八十一條 犯罪者ヲ拿捕セシ時、第一ニ注意スヘキモノハ、即時ニ該犯者ノ身体衣服ヲ搜索シテ、現場所有ノ書類、附属ノ器具等ヲ沒収シテ、散亂セシメサルヲナリ、

凡ソ輕罪犯ノ重キニ涉ルモノ、又ハ強盜、又ハ殺傷等ノ重罪ニ係ハルノ犯者ナル時ハ、先ツ其犯罪ニ係ハル所ノ兵器、或ハ其他ノ物件ヲ破毀、隱匿セシメサルヲト、其所有ノ金貨ヲ収メテ、其遁逃ヲ豫防スルニ注意スルヲ緊要タリ、

此拿捕スル處ノ犯者、若シ婦女ナル時ハ、他ノ婦女ヲシテ、其身体衣服等ヲ搜索セシム可シ、若シ此ノ犯罪者ノ衣服ニ、血痕若クハ其他ノ憑據等アリテ、他日ノ證據ニ立ツヘキモノアル時ハ、其衣類ヲ沒収シ、之レニ換ルニ、古着商店ニ古衣ヲ求メテ、着用セシメ、其憑據トスヘキ衣

類ハ、邑長ノ手ニ管シ、更ラニ買入レタル所ノ古衣ノ代價ハ、裁判所入費ヲ以テ之ヲ償フ、

第百八十二條 若シ此犯罪者、或ハ病痾、又ハ歩行シ能ハサルノ事故アル時ハ、兵器用ノ運送車、若クハ村邑中ノ、雜品運搬車等ヲ以テ、該犯者ヲ、其管轄ノ監倉ニ送致セシムヘシ、

此場合ニ於テハ、犯者ヲ送致セシムルノ以前、其地ノ醫員ヲ呼テ、該犯者ノ容體ヲ診察セシメ、其診察斷書ヲ附シテ、之ヲ送ラシムヘシ、
千八百一十八年六月十八日
ノ布告第六條、

第百八十三條 犯罪者、憲兵ニ護送サレテ、一邑中ヲ經過スルノ間、所勞ヲ以テ、其行歩ヲ爲シ能ハサルノ場合ニ於テハ、邑長、其地ノ醫員ニ診察サセ、其診察斷書ニ依テ、別ニ之ヲ輸送スルコトノ手續キヲ爲スヘシ、

第百八十四條 若シ越獄、脱檻ノ罪囚ヲ捕獲シテ、官廳又ハ警部、憲兵等

ニ訴へ出ル者ハ誰人ニテモ左ニ記載スル所ノ賞與ヲ受クヘシ
第一 禁獄ヲ設置セル市街村邑ノ區域外ニ於テ捕獲シ訴へ出ル者ハ二百フランノ賞與

第二 禁獄設置ノ市街村邑中ニ於テ之ヲ捕獲シ訴へ出ル者ハ五十フランノ賞與

第三 禁獄設置ノ圍繞門内ニ於テ之ヲ捕獲シ訴へ出ル者ハ二十フランノ賞與ヲ受ク可シ

第八十五條 邑長ハ司法警察ノ官吏タルヲ以テ其職務ヲ行フニ當リテハ直接ニ公力兵ヲ假用スルノ權ヲ有ス治第二十五條見合

治罪法第二十五條ニ曰檢事又ハ其他ノ司法警察ノ官吏ハ其職務ヲ執行スルニ當リ直接ニ公力兵ヲ借ランコトヲ要求スルコトヲ得可シ

若シ現行犯アリテ犯罪者ノ拿捕或ハ護送ノ爲ニ之ヲ要スル時ハ直チニ其近方屯集ノ憲兵營ニ通牒シテ之ヲ使用スルコトヲ得千八百五十五年十一月二十六日陸軍卿ノ布達

若シ其地ニ屯在ノ憲兵其兵員多カラス若シハ事故アリテ犯罪者ノ拿捕獲送ニ足ラサルカ又ハ事急卒ニシテ止ムヲ得サルノ場合ニ於テハ邑長直接ニ其郡邑ノ護國兵ノ司令長官ニ通牒シ其事件ニ要スヘキ人員ヲ定メテ護國兵ヲ假用スルコトヲ得可シ千八百五十一年六月十三日ノ法制第六百七條

田野及ヒ森林ノ監守人等モ亦其要スルノ場合ニ於テハ其拿捕ノ爲ニ使用セラル可シ治第十六條及ヒ森第六百六十條刑第二百三十四條見合

此場合ニ於テハ邑長護國兵ヲシテ幫助セシムルコトアルヘシ
治罪法第十六條ニ曰田野及ヒ森林ノ監守人等司法警察ノ職務ヲ

執行スルニ付テハ、各自ニ其管轄区内ニ於テ、田野或ハ森林ニ妨害ヲ爲ス、輕罪及ヒ違警罪ヲ探索ス可シ、田野及ヒ森林ノ監守人ハ、輕罪又ハ違警罪ノ種類、及ヒ其景狀、場所、日時、並ニ其證據、徵憑等ヲ調書ニ記ス可シ、

若シ犯罪者、其犯罪ニ係ハルノ物件ヲ轉移、隱匿シタル時ハ、田野及ヒ森林ノ監守人ハ、治安裁判官、又ハ其補員ノ出會スルニ非レハ、家屋製造所等ニ入り込ムヲ許サス

田野及ヒ森林ノ監守人ハ、犯罪者拿捕ノ爲メ、邑長、又ハ其補員ニ申牒シテ、公力兵ノ幫助ヲ要求スルヲ得ヘシ、邑長、及ヒ其補員ハ、其請求ヲ肯セサルヲ得サルモノトス、森林法、第六十四條ニ曰、森林官吏、及ヒ其監守人ハ、森林法ニ關シタル、輕罪及ヒ註誤ノ犯罪ヲ捕ラヘ、或ハ法例ニ背キ、販賣シタル樹木ヲ探偵シ、及ヒ沒收スルコト

ノ爲ニ、直接ニ公力兵ヲ請求スルヲ得、

刑法、第二百三十四條ニ曰、公力兵ヲ指揮スル士官、及ヒ下士官等、若シ文官ヨリ、法例ニ適當シタル要求ヲ受ケ、自己ノ指揮スル兵隊ヲ派遣スルヲ肯ノセサル時ハ、一月ヨリ少カラス、三月ヨリ多カラサル禁獄ノ刑ニ處セラル、

第九八六條 司法警察官吏ハ、苟モ其犯罪ト認ムヘキ事件ニ非レハ之ニ着手スルヲナキモノナリト雖モ、重罪、輕罪ニ非ス、又違警ニ非サル事件ト雖モ、其職掌上ニ於テ其原因ヲ推知シ置クヘキモノトス、若シ一ノ事件アリ、其初メハ、單純不意ノ災難ニ出ルカ如キ、景況ナルモノアリト雖モ、終イニ重罪トスヘキ結果ヲ成スコトアリ、若シ此場合ニ於テ、檢事ハ、直チニ其報告ヲ得ルニ非レハ、後チ必ス其蹤跡ヲ査照シ、及ヒ其首犯者ヲ捕拿スルニ難キヲアリ、

此故ニ若シ一邑中ニ於テ斯ノ如キ事件ノ現出スルイアル時ハ、邑長ハ直チニ之ヲ検査シ且之ヲ檢事ニ報知スルイ猶ホ現實ノ重罪輕罪ヲ發見セルモノノ如クスヘシ、

第百八十七條 横死若クハ其他ノ災害アリテ其景況ノ疑ヒヲ容ルヘキ事件アル時ハ、警察官吏ハ、内科或ハ外科ノ醫員ヲ率ヒテ其容體ヲ診斷爲サシメ其死體及ヒ景狀ヲ檢視シ其調書ヲ作ルノ後ニ非レハ、其埋葬ヲ爲スイヲ許サス民第八十一條

右ノ場合ニ於テ邑長ハ先ツ其始メニ之ヲ検査シ若シ其事態ニ犯罪若クハ其他ノ疑ヒアル時ハ、第二十七條ニ記載セル處ノ手續キヲ爲スヘシ、

民法第八十一條ニ曰「非命死ノ徵候アルカ又ハ非命死タルコトヲ思量スヘキ景況アル時ハ、警察官吏ハ、内科、外科醫員ノ診斷ヲ以テ

死體ノ景狀及ヒ之ニ關セル事狀並ニ死者ノ姓名、年齢、職業、出產ノ地名、住所等ヲ調査シ、詳細之ヲ調書ニ記シ、檢視全ク畢ルノ後ニ非レハ、埋葬スルイヲ許サス、

此最初ノ検査ニ於テ、其自殺變死ト、殺害非命死トヲ混雜セサラゾイヲ緊要トス、

人ヲ殺害セシ者、己レノ其罪跡ヲ消滅ナサシメシカ爲メニ、其死體ノ形容ヲ變換セシメ、自害變死ノ景況ニ假粧セシメ置クコトアリ、例ヘハ、人ヲ絞殺シ、其死體ノ頸ニ縊繩ヲ纏ヒ、自ラ絞縊セシモノ、如クシ、或ハ人ヲ井墜、又ハ沼池ニ溺死セシメ、其衣類ノ一部分、若クハ靴履ヲ其沼池井邊ニ配置シテ、其自カラ投セシモノ、如ク形容シ、或ハ人ヲ銃殺シテ、其火器ヲ以テ死者ノ手ニ持タシメ、自盡セシ者ノ如ク飾リ、或ハ人ヲ燻殺シテ、其家屋ニ火ヲ放チ置キ、自ラ咽死セシモノ、

如ク其死狀ヲ轉變セシムルコトアリ、
 故ニ變死ヲ檢視スルニハ、可及力精密ニ之ヲ查覈シテ、倉卒ニ其檢屍
 ヲ畢ル可カラズ、若シ檢屍中死体ノ事狀ニ一ノ疑點アルカ、若シハ醫
 員ノ診斷ニ於テ異狀ヲ發見スルコトアルキハ、死者ノ親族、又ハ其隣
 人等ニ就テ、其事跡ヲ聞糺シ、疑團ノ氷解セサル事件アル時ハ、其死體
 及ヒ周圍ノ物件ヲ、現在ノ儘ニ留メ置キ、直チニ其由ヲ檢事ニ報告シ
 テ、其着手ノ處分ヲ爲ス、
 若シ邑長死體ヲ檢視スルニ、殺害ヲ受ケタル徵候モナク、真ニ其自殺
 頓死ニ疑ヒナキ時ハ、直チニ之カ調書ヲ作り、其事跡ヲ証スヘキ、一二
 ノ証人ノ申告、及ヒ其場所並ニ醫員ノ診斷等、總テ其死體ニ關スルノ
 事件ヲ詳細ニ記載スヘシ、
 此檢屍查覈ノ手續キ、若シ精密ナラサル時ハ、檢事ハ、其事件ノ不意ノ

災害ニ出タルカ、或ハ懈怠、疎忽ニ因ルカ、又ハ刑法第三百十九條ニ述
 ル所ノ罪犯ニ擬スルカヲ、明亮ニ鑒定スルコトヲ得サル可シ、
 刑法第三百十九條ニ曰、疎忽、懈怠、又ハ定規ヲ遵守セサルヨリ生シ
 テ、故意ニ非スシテ人ヲ殺シ、又ハ人ヲ殺スノ原由ヲ爲ス者ハ、三月
 ヲリ少カラズ、二年ヨリ多カラサルノ、禁獄ノ刑ニ處セラレ、且五十
 「フラン」ヨリ少カラズ、六百「フラン」ヨリ多カラサル、罰金ヲ科セラル、
 第三百八十八條 死體ノ解剖ヲ爲サントスルノ際、或ハ邑廳迄ノ距離遠
 ク、或ハ近方ニ適宜ノ家屋ナク、假令ヒ之レアルモ、人民ノ住家ニシテ、
 此ノ解剖ノ手術ヲ爲スコトヲ受ケ肯セザル時ハ、邑長ハ、其近方ニ於テ、
 空室、若シハ車置場等ノ場所ヲ搜索シ、爰ニ死體ノ解剖ヲ爲サシメ、嚴
 シク人ノ出入ヲ禁止シテ、其手術ヲ行ハシムヘシ、
 第三百八十九條 變死アルノ際、其蹤跡ノ實ニ自滅ト認ムル時ハ、其事跡

四九一

ヲ搜索シ隣人彼是ノ申告ヲ聞テ其原因ヲ糺スヘシ例ヘハ其變死ノ狂氣ニ出シカ又ハ積鬱愁衷ニ生セシカ或ハ醉酗ニ因ルカ
檢事ハ調書ニ該死者ノ姓名年齢職業出生所及ヒ住居等ヲ詳記シ民法第八十一條出ス前ニノ定規ヲ畢ルノ後顛末ヲ記シ全年ノ統計表ニ之ヲ記入ス

第九十條 若シ死體ノ其誰人タルヲ知ルヲ能ハサル時ハ調書ニ其

体格及ヒ年齢ノ推算衣類ノ品種并ニ所持品等ヲ詳記シ之ヲ以テ其本籍及ヒ人名ヲ索ムヘキ目標トナシ且之ヲ檢事ニ送致ス

若シ其死體ノ人名明亮ナル時ハ邑長ハ上ニ記載スル所ノ手續キヲ竣テ後之ヲ其親族ニ引渡シ其埋葬ヲ爲サシム民第八十一條

非命死ノ其人名ヲ明白ニスル者ハ其死狀ノ奈何ヲ調書ニ記載スルコトナシ民第八十五條

民法第八十五條ニ曰非命死ヲ爲シ又ハ獄舎懲役場等ノ内ニ於テ死去シ若クハ死刑ニ處セラレタル者ハ其事狀ヲ簿冊ニ騰記セス第七十九條ノ法式ヲ以テ死去ノ証書ヲ記ス

全第七十九條ニ曰死去ノ証書ニハ死者ノ姓名年齢職業住所及ヒ其申告ヲ爲ス者死者ノ血屬ナル時ハ其倫序ヲ記ス若シ死者ノ父母ノ姓名職業住所ト死者ノ出生地名等明白ナル時ハ亦之ヲ記入ス

若シ死者外國人ニシテ其住所明白ナル時ハ邑長其死ノ景況ヲ記シ之ヲ檢事ニ送達ス檢事ハ之ヲ該死者ノ居住所管轄ノ身上証書官吏ニ送致ス民第八十二條

五九一 第九十一條 住所姓名等ヲ明白ニセサル所ノ死骸ノ埋葬費ハ其死骸ヲ見出セシ土地ノ邑費ヲ以テ之ヲ支給スヘシ千八百十一年六月十八日ノ法令第三

條

若シ河海中ヨリ死骸ノ漂着シテ邑ノ區内ニ属スル所ノ海濱沙洲等ニ打上ケラレタル時死体ノ上ニ或ル有價ノ物品ヲ携帯スルコトアル時ハ該地管轄ノ地方廳ト海軍支廳トノ立會ノ上此携帯物品ノ價ヲ以テ其埋葬費ヲ償フ然レモ若シ其死體附屬ノ物件ニ價ナキ時ハ該屍ノ埋葬費ハ海軍老兵院^{アンソリー・ホドラー}ノ金櫃中ヨリ之ヲ支給スヘシ^{千八百五十八年八月十八日海軍卿ノ指令}

第九十二條 若シ死者ノ嗣子未丁年者ナルカ又ハ丁年ナリト雖モ當時不在ナルカ或ハ死者公ケノ書類又ハ官金等ヲ預ル者タル時ハ邑長ハ遲延ナク死者居住所ノ治安裁判官ニ通牒シ其出會ノ上死者ノ財産ニ封印ヲ爲スヘシ^{第九百一十一條}

訴訟法第九百一十一條ニ曰死者ノ財産ニ封印ヲ爲スコトハ左ニ記

列スルノ場合ニ限ル但シ檢察官ノ求メニ因リ又ハ邑長若クハ副

邑長ノ申立若クハ治安裁判官ノ公務ヲ以テ爲スモノナリ

第一 幼者ノ後見人ナクシテ其親族ヨリ封印ヲ爲スヲ求メサル時

第二 死者ノ未亡人又ハ其相續人ノ不在ナル時

第三 死者公ケノ書類又ハ官金ヲ預ル者タル時但シ此場合ニ於テハ死者ノ預リタル物件ノミニ封印ヲ爲スヘシ

第九十三條 難破船ノアル時ハ邑長ハ直チニ其處分ニ着手スルコトナキモノトス此等ノ處分ハ總テ其方面ヲ管轄スル處ノ海軍支廳ノ派出官吏ノ專任スル所ナリ故ニ難破船ニ就テハ該官吏ノ出張スル迄ノ間ハ該地海濱ノ浦役人タルモノ出會シテ其救助ノ方法ヲ爲ス然レモ若シ其難破船ニ付テ漂流スル物品等ノ保護ヲ爲サンカ爲

該地方官吏ノ出會ヲ要ムルコトアル時ハ、邑長之レニ莅ンテ其着手
ヲ爲スヘシ、千八百二十三年八月二
十二日海軍卿ノ布令、

難破船ノアル時ハ、浦役人並ニ海濱ノ漁業者及ヒ總テノ車夫等ハ、海
軍支廳派出官吏ノ命令ニ依テ、其幫助ノコトニ、從事スヘキモノトス、
刑第四百七十五
條第十二項參照、

刑法第四百七十五條第十二項ニ曰、不慮ノ災害、騷擾、難破船、洪水、火
災、其他ノ變災、或ハ盜賊、掠奪、現行罪犯、又ハ衆人ニ犯罪ヲ高聲ニ呼
掛ケラレ、又ハ裁判宣告ニ從ヒ、犯人處刑ノ場合等ニ於テ、其幫助ヲ
爲スヘキ、需メヲ受ケ止ムヲ得サルノ事故ナクシテ、其勞働ヲ爲シ、
其幫助ヲ爲スコトヲ肯セス、若クハ怠リシ者ハ、六「フラン」ヨリ少カラ
ス「十」フラン「ヨリ」多カラサルノ罰金ヲ科セラルヘシ、

若シ此難破船ニ就テ、其物品ヲ掠奪スル者アル時ハ、治安裁判官、又ハ

邑長ハ、其証人ヲ率イテ、該犯者ノ家屋搜索ヲ爲シ、且其處分ヲ爲ス、若
シ此掠奪者ノ連類、多人數ナル時ハ、該邑區内ニ其責ヲ附スルモノト
ス、

難破船ニ因テ、海庭ニ沈没シタル物件、錨、網、鎖、其他砲器、彈丸等ノ種類
ヲ搜索管理スルコトハ、總テ此ノ海軍派出官吏ノ專理スル所ニシテ、漂
着死體ノ帶フル所ノ諸物件モ亦之ニ準ス、

第九十四條 鑛坑中ニ生シタル火難、災害等アル時ハ、邑長ハ直チニ
其場ニ至リ、專ラ其處置ヲ委任シ、且左ノ二件ヲ處分ス、

第一 其火難災害ヲ防止シ、且其傷病者ヲ救ヒ出スコト、
第二 此災害ニ罹リ、死傷シタル者ヲ其筋ニ護送セシムルコト、

此場合ニ於テハ、鑛山職業ノ株主、又ハ之ヲ管理スル所ノ者ヨリ、其災
害ノ發記セシ原因等ヲ詳ニ邑長ニ申告スヘキモノトス、千八百十三
年一月三日

ノ法令第
十一條

邑長ハ若シ右ノ如キ災害ノ發記セシ急報ヲ得ル時ハ假令ヒ途上ニ於テ之ヲ聞クモ直チニ其旨ヲ該地方廳ニ報告セシメ置キ急ニ其場所ニ至リ墮夫其他ノ人員ヲ集メ之ヲ指揮シテ其災害ヲ防止シ傷痰者ヲ扶助セシメ其他之ニ要スヘキ事件ヲ注意處分スルコトヲ專任スヘシ全上第
十四條

邑長ハ此災害ニ罹ツテ死亡シタル者ノ屍體ヲ逐一ニ檢視シ之ヲ圖書ニ記載シ民法第八十一條前ニノ定規ヲ畢ルノ後其埋葬ノ手續キヲ爲サシム若シ死體ノ坑中ニ在リテ火勢ノ熾ナルカ爲ニ之ヲ救ヒ出ス事ヲ爲シ能ハサルノ場合ニ於テハ其事狀ヲ詳細ニ調書ニ記シ之ヲ檢事ニ送達ス

若シ其災害ノ起リ一般ノ規則ニ違ヒ怠慢上ヨリシテ原因スルモノ

ハ刑法第三百十九條及ヒ三百二十條ノ條例ニ擬シテ其手續キヲ爲スヘシ

刑法第三百十九條前ニ
著ス

全第三百二十條ニ曰千八百六十三年
五月十三日改正疎忽怠慢ニ因リ人ヲ傷痰シ

又ハ毆撃シタル時ハ該犯者ハ六日ヨリ少カラス二月ヨリ多カラサル禁獄ノ刑ニ處セラレ且十六フランヨリ少カラス百フランヨリ多カラサル罰金ヲ科セラルヘシ

第九十五條 傳染流行病ノ事

凡ソ傳染病ノ流行スル地方ニ於テハ縣令又ハ警視長官ノ命令ニ依テ其豫防委員ヲ設ケ若シ不意ニ其病毒ニ罹ル者アル時ハ該區ノ邑長ハ直チニ之ヲ縣令若シハ警視長官ニ報告シ置キ其景況ニ應シ可及力其消除ノ方法ヲ行ハシメ其排泄物ヲ洗淨シ不潔ノ物品ヲ燒燼

第百九十六條 獸類ノ傳染病

シ、若クハ其定マリタル埋収地ニ運輸スル等ノ事ヲ嚴密ニ處置シ其
感染ノ擴張セサラノヲ務ムヘシ、

凡地方官憲縣令ハ其地方ニ於テ獸類ノ傳染病流行スル時ハ其方術
ヲ擧ケテ其豫防消除ノ措置ヲ爲スヘシ、刑第四百五十九條、第四百六
刑法第四百五十九條ニ曰、傳染病ニ罹ルノ疑アル獸類ヲ蓄藏シ、或
ハ看守スルモノ、速ニ其地ノ邑長ニ申告セサル者、及ヒ邑長ニ其事
件ヲ告發スト雖モ其回報ヲ得ルノ前其獸類ヲ鎖閉シ置サル者ハ、
六日ヨリ少カラス、六月ヨリ多カラサル禁獄ノ刑ニ處セラレ、且十
六フランヨリ少カラス、二百フランヨリ多カラサル罰金ヲ科セラ
ル可シ、

全、第四百六十條ニ曰、官署ノ禁制ニ背キ、傳染病ニ罹リタル獸類ヲ

ヲシテ他ノ獸類ト雜居セシメタル者ハ、二月ヨリ少カラス、六月ヨ
リ多カラサル禁獄ノ刑ニ處セラレ、且百フランヨリ少カラス、五百
フランヨリ多カラサル罰金ヲ科セラル、

全、第六十一條ニ曰、前條ニ記載シタル獸類ヲ雜居セシメタルノ故
ヲ以テ、他ノ獸類ヲシテ、感染セシメタル時ハ、官署ノ禁制ニ背キタ
ルヲ以テ、二年ヨリ少カラス、五年ヨリ多カラサルノ禁獄ニ處セラ
レ、且百フランヨリ少カラス、千フランヨリ多カラサル罰金ヲ科セ
ラルヘシ、

正誤

- | | |
|-----------|---------------|
| 例言第一葉第二行 | 官聽ハ官廳ノ誤 |
| 首卷第一葉第三項 | 副察長ハ副邑長ノ誤 |
| 第十三葉第九行 | 海軍ハ海陸ノ誤 |
| 第十五葉第四行 | 遍ノ下ニクヲ脱ス |
| 第二十一葉第九行 | 區長ハ邑長ノ誤 |
| 第二十六葉第四行 | 文ノ下ニ書ヲ脱ス |
| 第三十六葉第十一行 | 遊警罪ハ違警罪ノ誤 |
| 第三十七葉第九行 | 浮誤ノハヲノ誤 |
| 第四十葉第十二行 | 徵兵令ノハヲノ誤 |
| 第四十二葉第十一行 | 受理ノ下ニスヲ脱ス |
| 第五十七葉第三行 | 百「ヲヲ」ノ下ニヨリヲ脱ス |

第五十八葉第九行 權中ハ權内ノ誤
 第六十四葉第三行 制現ハ制規ノ誤
 第六十五葉第十一行 盜賦ハ盜賊ノ誤
 第六十九葉第十行 等ニヨテニハ等ニヨリテノ誤
 第七十六葉第五行 鑿定人ハ鑿定人ノ誤
 第八十六葉第七行 盜ナリハ盜アリノ誤
 第九十三葉第四行 地安ハ治安ノ誤
 第一百十二葉第六行 制林ハ制禁ノ誤
 第一百十七葉第十二行 品質ハ品質ノ誤
 第一百六十葉第十行 死沒償ノハハ死沒ノ償ハノ誤
 第一百六十八葉第六行 四時ノ下ニ前ヲ脱ス
 第一百八十五葉第七行 診察斷書ハ診斷書ノ誤

明治十一年三月三十日版權免許

翻譯并出版人

廣島縣平民

渡正元

第三大區一小區麴町平川町六丁目十一番地寄留

所	捌	賣	印行所
埼玉縣下浦和驛	千葉縣下寒川	大坂心齊橋通久太郎町南エ入	東京銀座四丁目
同分社	同分社	同分社	博聞本社
同分社	同分社	同分社	

第五十八葉第九行 權中ハ權内ノ誤
 第六十四葉第三行 制現ハ制規ノ誤
 第六十五葉第十一行 盜賊ハ盜賊ノ誤
 第六十九葉第十行 等ニヨテニハ等ニヨリテノ誤
 第七十六葉第五行 鑿定人ハ鑿定人ノ誤
 第八十六葉第七行 盜ナリハ盜アリノ誤
 第九十三葉第四行 地安ハ治安ノ誤
 第一百十二葉第六行 制林ハ制禁ノ誤
 第一百十七葉第十二行 品質ハ品質ノ誤
 第一百六十葉第十行 死沒償ノハハ死沒ノ償ハノ誤
 第一百六十八葉第六行 四時ノ下ニ前シ脱ス
 第一百八十五葉第七行 診察斷書ハ診斷書ノ誤

明治十一年三月三十日版權免許

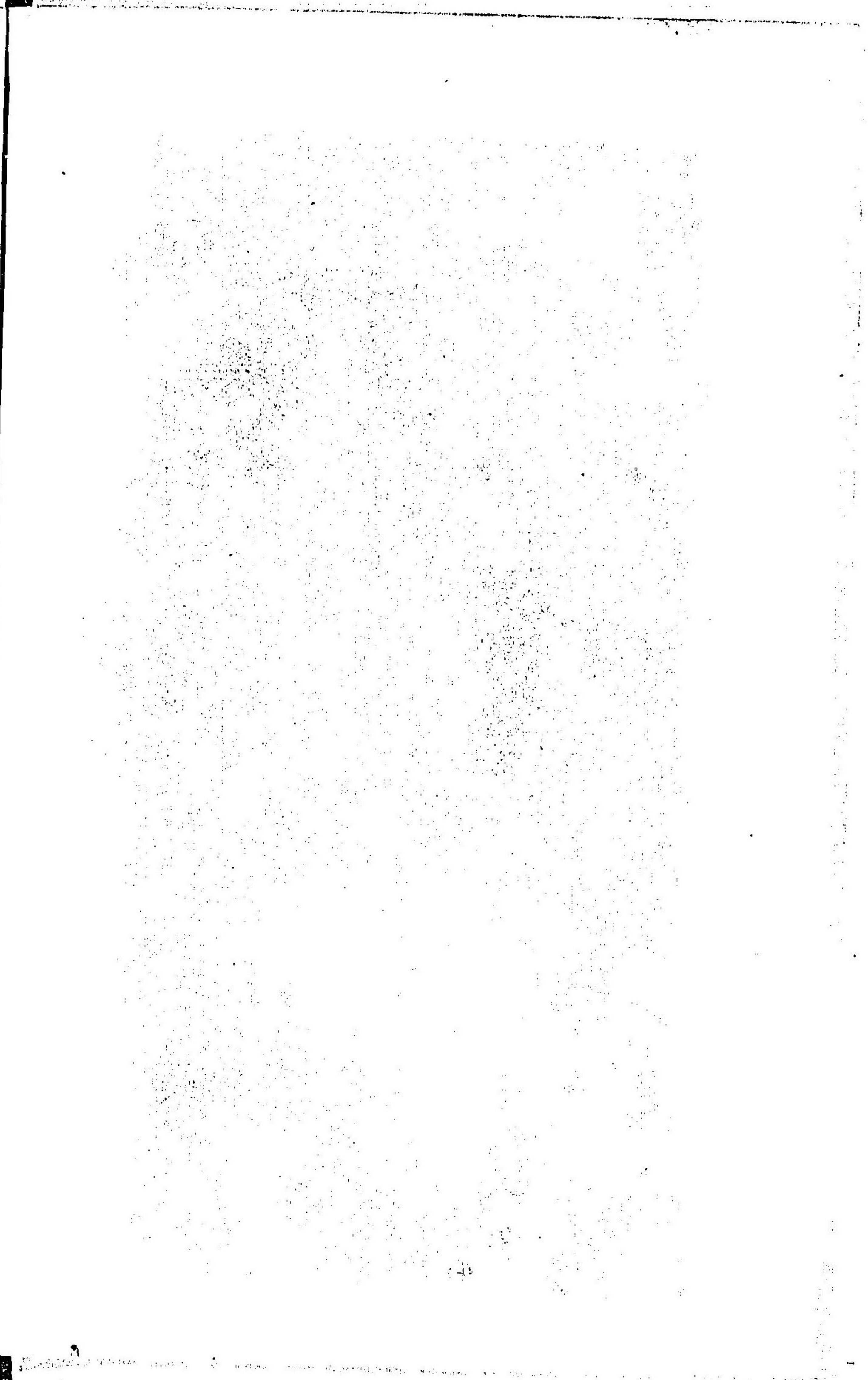
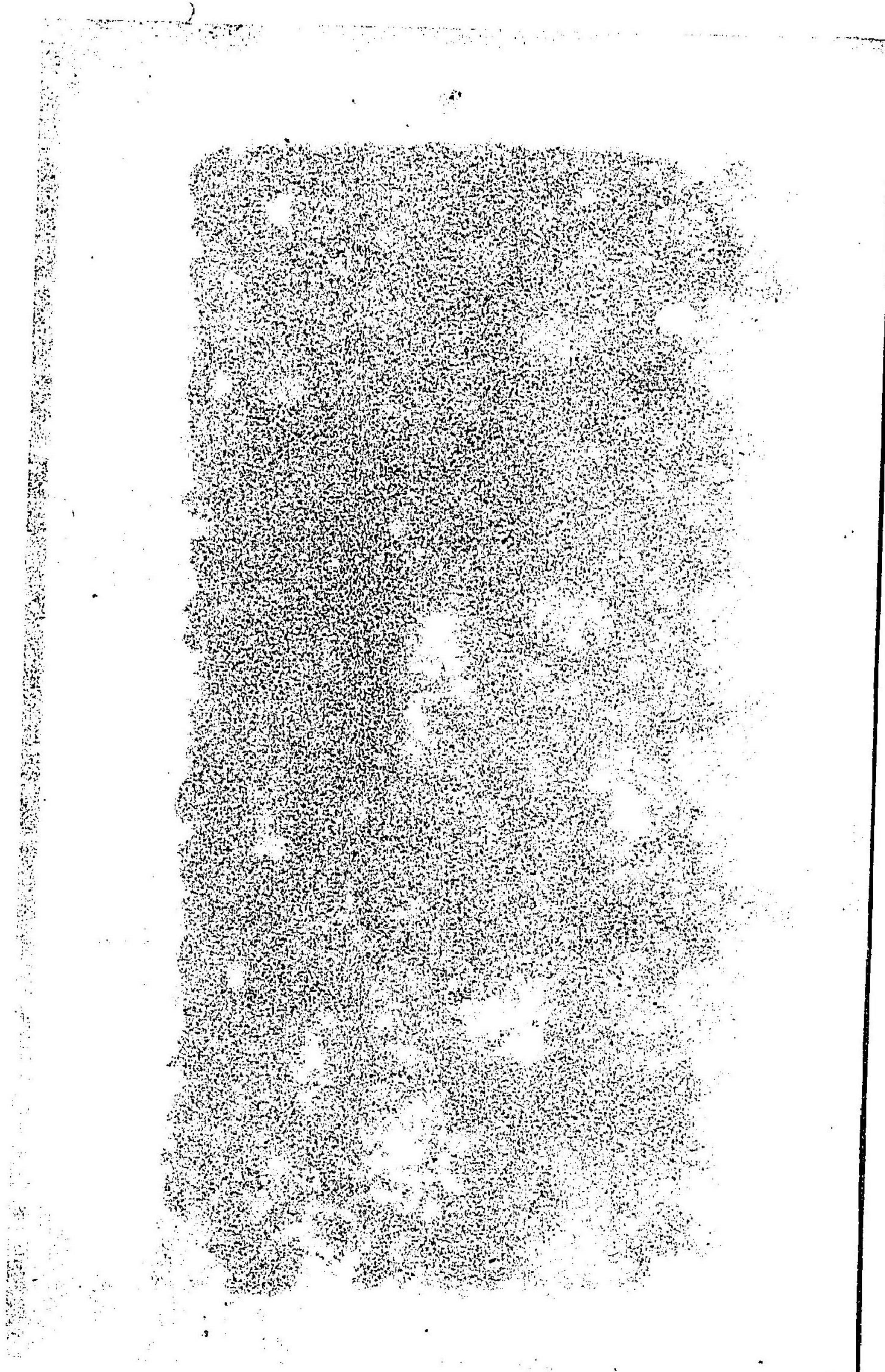
翻譯并出版人

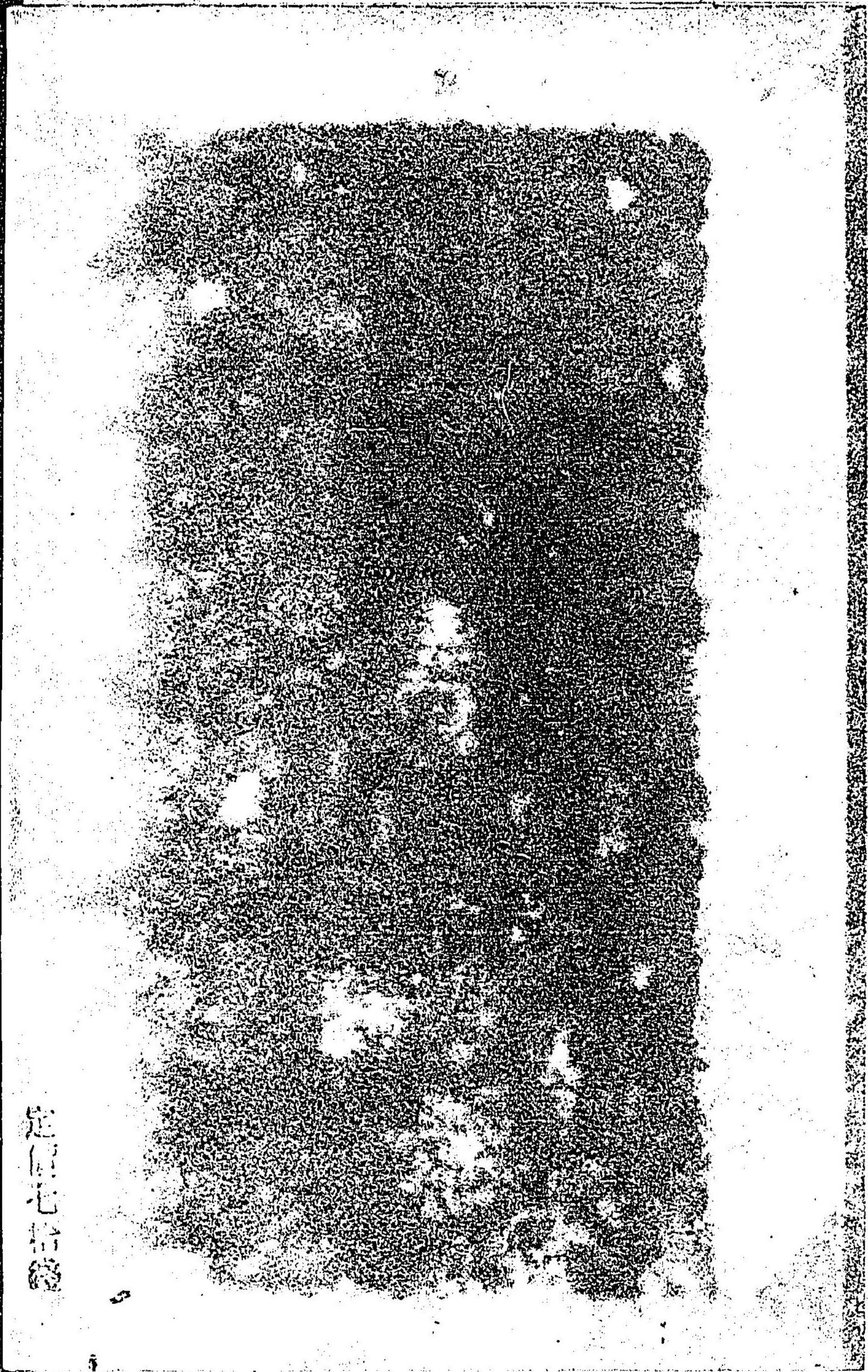
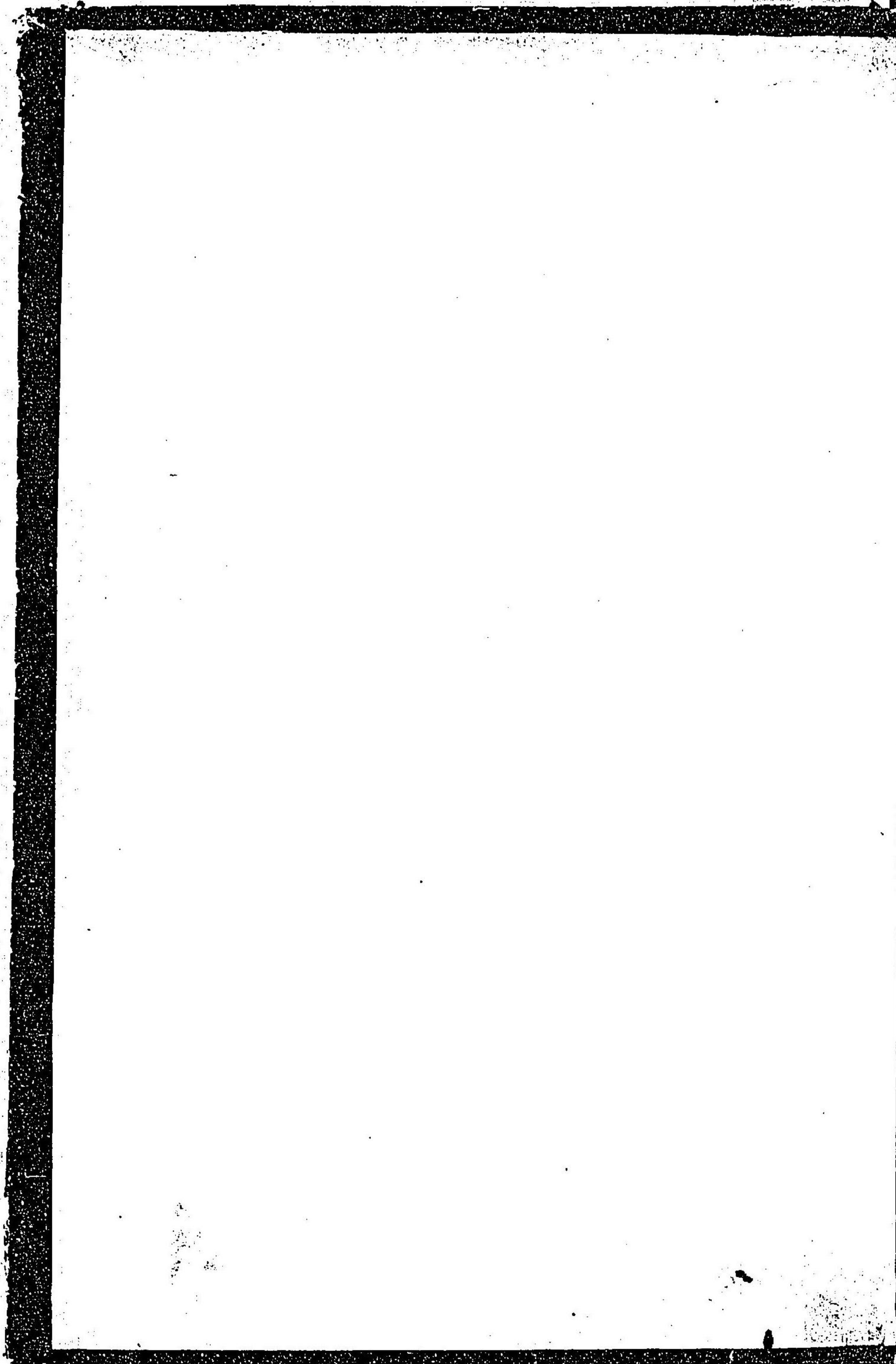
廣島縣平民

渡正元

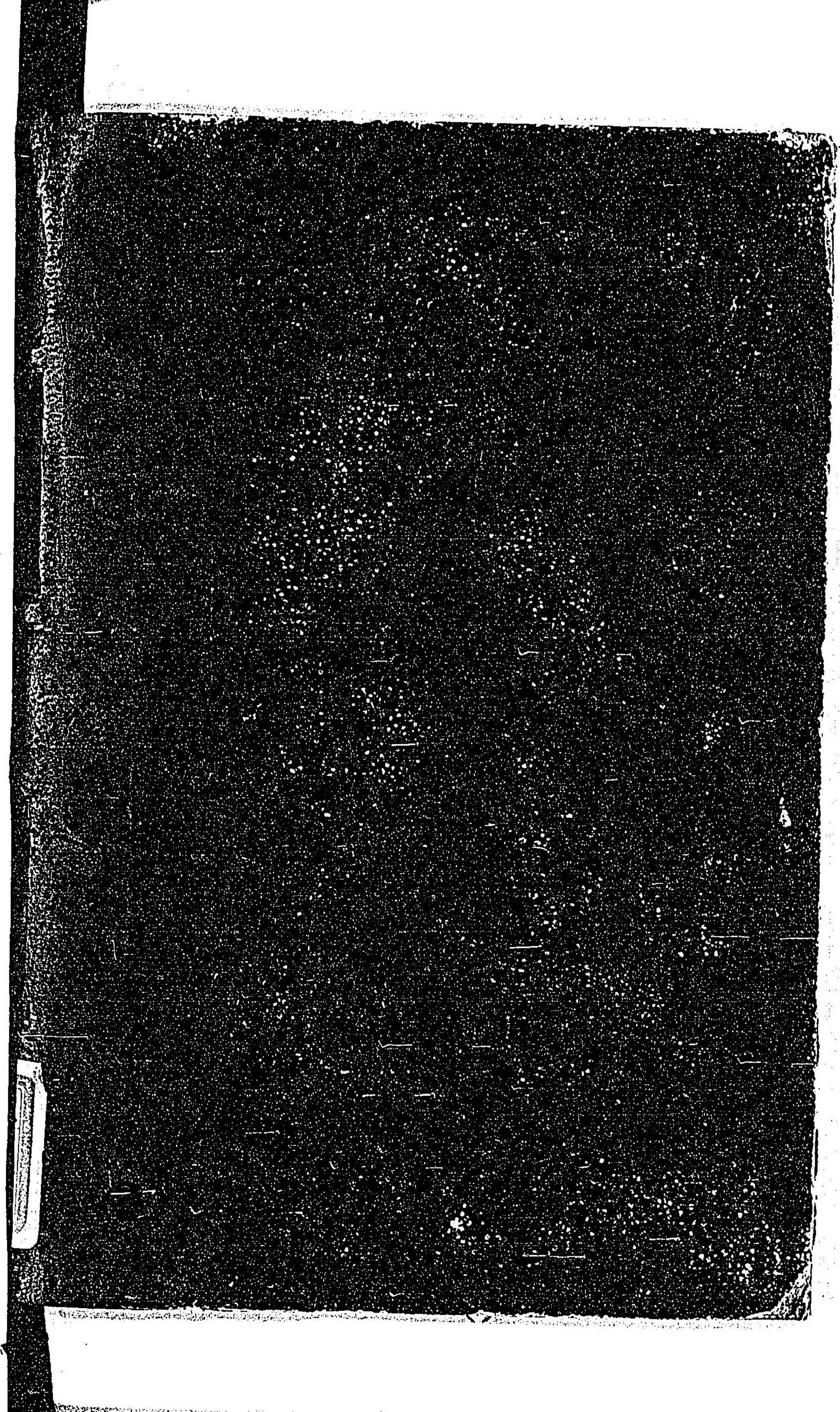
第三大區一小區
 町平川町六丁目十
 一番地寄留

所	棚	賣	印行所
埼玉縣下浦和驛	千葉縣下寒川	大坂心齊橋通久太郎町南エ入	東京銀座四丁目
同分社	同分社	同分社	博聞本社
			下京蛸藥師通麩屋町東
			同分社





成
立
在
總



10
6
190



東京圖書館	
函 二 一	門 新
架 四	部 一
號 九 六 四	類 四

033564-000-9

CF2-351-01

仏国警察提要

渡 正元/訳

M11

BBK-0400



